

2023年度 リンゴ主要品種の生育期および品質

中山間農業研究所

品種	年度	発芽期	展葉期	開花期			収穫期		満開後 日数
				始期	満開期	終期	始期	終期	
つがる (つがる姫)	今年	3/24	4/3	4/20	4/24	5/6	8/28	9/13	126
	前年	4/1	4/12	4/26	4/28	5/6	8/31	9/12	125
	前年差	-8	-9	-6	-4	0	-3	+1	+1
	平年差	-8	-13	-11	-10	-5	-8	0	+2
	平年値	4/1	4/16	5/1	5/4	5/11	9/5	9/13	124
ふじ (長ふ6号 選抜系)	今年	3/24	4/1	4/20	4/24	5/6	11/8	11/21	198
	前年	4/1	4/11	4/26	4/28	5/4	11/14	11/22	200
	前年差	-8	-10	-6	-4	+2	-6	-1	-2
	平年差	-9	-14	-11	-11	-5	-6	-4	+5
	平年値	4/2	4/15	5/1	5/5	5/11	11/14	11/25	193

2023年度 リンゴ主要品種の果実品質

品種	年度	平均 果重(g)	糖度 (%)	酸度 (%)	硬度 (lbs)	着色 程度	でんぷん 指数	ミツ入り 程度
つがる (つがる姫)	今年	326	14.1	0.22	11.1	3.2	1.6	0.0
	前年	217	12.7	0.23	11.7	3.4	2.7	0.0
	前年差	(150)	(111)	(96)	(95)	-0.2	-1.1	0
	平年差	(119)	(101)	(96)	(91)	-1.2	-0.1	-0.1
	平年値	273	14.0	0.23	12.2	4.4	1.7	0.1
ふじ (長ふ6号 選抜系)	今年	300	13.6	0.27	13.8	4.8	0.1	0.7
	前年	423	14.7	0.43	12.4	4.9	0.9	2.4
	前年差	(71)	(93)	(63)	(111)	-0.1	-0.8	-1.7
	平年差	(85)	(87)	(66)	(105)	+0.1	-0.8	-1.8
	平年値	353	15.6	0.41	13.2	4.7	0.9	2.5

調査場所: 高山市国府町山本 標高約600m

調査樹: 台木はつがるがM.26中間台、ふじがJM7で、20年生樹各2樹の平均値

平年値: 過去10年(2013~2022年)の平均値

平年差と前年差: それぞれ平年値と前年差との差で、()内はそれぞれ前年比又は平年比

◎生育概況

- ・発芽期は、前年に比べて8日早く、平年に比べて8~9日早くなりました。
- ・展葉期は、前年に比べて9~10日、平年に比べて13~14日早くなりました。
- ・満開期は、前年に比べて4日、平年に比べて10~11日早くなりました。
- ・果実肥大は失速し、平年より小さい状況です。
- ・「つがる」の収穫始期は、前年に比べて3日、平年に比べて8日早くなり、大玉で糖度が平年並みだが、硬度が低く、着色も悪かった。
- ・「ふじ」の収穫始期は、前年および平年に比べて6日早くなり、やや小玉で糖度もやや低く、硬度はやや硬く、着色は平年並みであった。

注) 調査基準

- 発芽期 : 頂部が破れ、青みのあらわれたものを3個以上認めた日
- 展葉期 : 頂芽の第1葉が展葉したものを3個以上認めた日
- 開花始期: 連続して1~2花開花した日
- 満開期 : 頂芽の70~80%が開花した時
- 開花終期: 頂芽の70~80%の花弁が散った時
- 収穫始期: 適熟果を初めて収穫した日
- 収穫終期: 収穫を終了した日
- 満開後日数: 満開期から収穫始期までの日数
- 平均果重: 収穫果実の平均値
- 糖度 : 収穫盛期に収穫した10果の陽光面の測定値
- 酸度 : 収穫盛期に収穫した10果の陽光面の測定値
- 硬度 : 収穫盛期に収穫した10果の陽光面と非陽光面の測定値の平均値
- 着色程度: 不良(1)~良好(5)
- デンプン指数: 無(0)~ほとんど全面(5)
- ミツ入り: 無(0)~極多(5)

